



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ベルク

コード番号 9974

URL <https://www.belc.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）原島 一誠

専務取締役コンプライアンス室長兼財務

問合せ先責任者（役職名）経理部・業務サポート部・サステナビリティ広報室管掌兼法務担当（氏名）上田 英雄（TEL）049-287-0111

半期報告書提出予定日

2024年10月11日

配当支払開始予定日

2024年11月1日

決算補足説明資料作成の有無

: 有

決算説明会開催の有無

: 有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	189,658	11.5	9,035	△2.3	9,241	△3.2	6,170	△10.0
2024年2月期中間期	170,026	12.7	9,248	30.4	9,542	31.2	6,859	40.7

（注）包括利益 2025年2月期中間期 6,185百万円（△10.0%） 2024年2月期中間期 6,869百万円（40.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	296.03	—
2024年2月期中間期	329.05	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	195,794	104,944	53.6
2024年2月期	184,363	99,965	54.2

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 104,944百万円 2024年2月期 99,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	50.00	—	58.00	108.00
2025年2月期	—	58.00			
2025年2月期（予想）			—	58.00	116.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	376,724	7.1	17,509	20.8	17,630	17.8	11,906	11.5	571.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年2月期中間期	20,867,800株	2024年2月期	20,867,800株
2025年2月期中間期	21,845株	2024年2月期	22,619株
2025年2月期中間期	20,845,440株	2024年2月期中間期	20,845,183株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の業績予想の前提条件その他事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されます。しかしながら、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなり、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、原材料価格や商品製造コストの高騰に伴う商品調達価格の上昇、物価上昇に伴う個人消費の持ち直しに足踏みがみられるなど、厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、スーパーマーケットとして地域社会の人々により充実した生活を提供すべく、「Better Quality & Lower Price」を掲げ、おいしく鮮度の良い商品の販売、価格訴求及びお客様に支持され信頼される店舗づくりを推進いたしました。

主な取り組みにつきましては、以下のとおりであります。

販売政策におきましては、ポイントカード販促や各種キャンペーンの実施、SNSを利用した情報の発信を行い、幅広い層のお客様への来店動機を高めてまいりました。ネットスーパー「バルクお届けパック」、当社独自の電子マネーカード「バルクペイ」は導入店舗を拡大し、利便性向上を図ってまいりました。また、移動スーパー「とくし丸」も拡大展開を続け、高齢者等に対する買物支援の取り組みを進めました。

商品政策におきましては、プライベートブランド「くらしにバルク kurabelc(クラベルク)」を含めた自社開発商品の取扱いをより一層拡大することで、目的を持ってお買い物に来ていただけるお客様を増やすことに貢献いたしました。

店舗運営におきましては、当社最大の特長である標準化された企業体制を基盤にしなが、適正な人員配置や省力器具の運用を日々見直し、高い生産性を誇るチェーンオペレーションを推進いたしました。

店舗投資におきましては、新店を3店舗、2024年3月に東京都練馬区に「練馬高松店」、4月に群馬県中之条町に「中之条店」、7月に東京都葛飾区に「葛飾高砂店」を新規出店いたしました。また、既存店4店舗の改装を実施し、惣菜及び簡便商品の拡充、快適なお買い物空間を提供するための設備の更新を行いました。なお、2024年8月末現在の店舗数はバルク139店舗、クルベ2店舗の計141店舗であります。

物流体制におきましては、商品を産地やメーカーから大量一括調達し、自社物流を活かした配送の高効率化等を行うことで、商品の価格強化と品質の安定化を目指しました。また、店舗作業に合わせた配送体制の見直しを引き続き行い、店舗運営の効率化に取り組みました。

一方、グループ会社である「株式会社ホームデリカ」は、製造能力の増強とおいしい商品の供給体制を構築し、商品力の強化を図ってまいりました。また、「株式会社ジョイテック」は、備品、消耗品及び販売用資材等の供給と開発等、当社グループのサービス業務の強化に取り組みました。

これらの結果、当中間連結会計期間における経営成績は、営業収益(売上高及び営業収入)が189,658百万円(前年同期比111.5%)、営業利益が9,035百万円(前年同期比97.7%)、経常利益が9,241百万円(前年同期比96.8%)、親会社株主に帰属する中間純利益が6,170百万円(前年同期比90.0%)となりました。

売上高につきましては、徹底的な価格強化がお客様の支持を得て、堅調に推移いたしましたが、商品調達価格や賃金の上昇に伴うコスト増により、増収減益の結果となりました。しかしながら、当中間連結会計期間における経営成績は会社計画通りに進捗しており、引き続き高い収益性を維持してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11,430百万円増加し195,794百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,766百万円増加し40,674百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が2,261百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ7,664百万円増加し155,119百万円となりました。この主な要因は、土地が3,319百万円増加及び「その他(純額)」に含まれる建設仮勘定が1,352百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ6,451百万円増加し90,850百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ4,321百万円増加し49,766百万円となりました。この主な要因は、買掛金が2,787百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,129百万円増加し41,083百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が増加した2,215百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,979百万円増加し104,944百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が増加した4,960百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、第1四半期連結会計期間に引き続き、当中間連結会計期間におきましても、当初計画通りに進捗しておりますので、2024年4月11日に公表しております業績予想から変更はありません。今後、業績に大きな影響を及ぼす事項が発生した場合は速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,028	19,289
売掛金	5,168	6,359
商品及び製品	8,957	9,861
原材料及び貯蔵品	471	384
その他	5,282	4,780
流動資産合計	36,908	40,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	75,335	76,090
土地	43,375	46,695
その他(純額)	9,540	11,227
有形固定資産合計	128,251	134,013
無形固定資産		
投資その他の資産	2,407	2,447
退職給付に係る資産		
繰延税金資産	168	170
繰延税金資産	2,754	2,914
差入保証金	9,001	9,654
その他	4,878	5,925
貸倒引当金	△5	△6
投資その他の資産合計	16,796	18,659
固定資産合計	147,455	155,119
資産合計	184,363	195,794

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,208	25,996
1年内償還予定の社債	428	428
1年内返済予定の長期借入金	7,445	8,082
リース債務	72	72
未払法人税等	2,126	3,441
契約負債	624	620
賞与引当金	1,276	1,591
役員賞与引当金	93	45
店舗閉鎖損失引当金	—	16
その他	10,170	9,470
流動負債合計	45,444	49,766
固定負債		
社債	2,142	1,928
長期借入金	24,252	26,467
リース債務	172	136
役員株式給付引当金	63	77
預り保証金	5,234	5,298
資産除去債務	6,526	6,633
その他	561	541
固定負債合計	38,954	41,083
負債合計	84,398	90,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,912	3,912
資本剰余金	4,102	4,102
利益剰余金	91,985	96,946
自己株式	△118	△114
株主資本合計	99,882	104,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22	32
退職給付に係る調整累計額	60	64
その他の包括利益累計額合計	83	97
純資産合計	99,965	104,944
負債純資産合計	184,363	195,794

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	167,169	186,522
売上原価	120,973	135,914
売上総利益	46,196	50,607
営業収入	2,856	3,135
営業総利益	49,052	53,743
販売費及び一般管理費	39,804	44,708
営業利益	9,248	9,035
営業外収益		
受取利息及び配当金	20	21
受取事務手数料	57	62
受取退店違約金	2	0
補助金収入	183	89
その他	93	113
営業外収益合計	357	287
営業外費用		
支払利息	56	76
社債利息	5	4
その他	0	0
営業外費用合計	62	81
経常利益	9,542	9,241
特別利益		
固定資産売却益	—	0
資産除去債務戻入益	20	—
特別利益合計	20	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	96	103
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	16
特別損失合計	96	120
税金等調整前中間純利益	9,466	9,121
法人税、住民税及び事業税	2,751	3,117
法人税等調整額	△144	△166
法人税等合計	2,606	2,950
中間純利益	6,859	6,170
親会社株主に帰属する中間純利益	6,859	6,170

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	6,859	6,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	10
退職給付に係る調整額	6	4
その他の包括利益合計	10	14
中間包括利益	6,869	6,185
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	6,869	6,185
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

当社グループは、小売業のみを営んでおり、単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

当社グループは、小売業のみを営んでおり、単一のセグメントであるため、記載を省略しております。